

すこやか

沖代小学校 2012, 6, 25 (月)

夏になって、虫によるトラブルが多くなっています。草むらや木の近くに行くときは、虫よけ薬を使う、長そでシャツ・長ズボンを着るなどして十分気をつけましょう。

虫さされの手当て

①水でよくあらう

かゆみがやわらぎ、治るのも早くなります。



②水分をよくふきとって、かゆみ止めの薬をぬる。

虫さされ用でOK。

③冷やす

はれやかゆみをおさえます。



☆毒蛾や毛虫にさわったときは、はらったりこすったりしてはいけません。

- ・テープをそっと貼りつけてはがす
- ・水を強く出して、さされた部分を洗い流す。

※はれや痛みが強いつきは、ひふ科を受診しましょう。

かきむしってしまうと「とびひ」になることもあるので、気をつけましょう。

この虫、
知っていますか？

アオバアリガタ
ハネカクシ



体長7mmほどの小さな虫で黒にオレンジの横縞があります。

水田や湿った地表に住んでいて、主に5月～10月に電灯に飛んできます。

体液に強い毒性があり、皮膚についてから2時間程でかゆくなり、その後赤くはれて、やけどのように水ぶくれができ皮膚炎をおこします。

目に入ると失明することもあるそうなので、気をつけてください。

皮膚に止まったらつぶさないようにそっとはらいのけましょう。

ときどきチェックもアタマジラミ



●アタマジラミとは

体長2～4mmの虫で、髪の毛に寄生し、頭皮から血を吸います。吸われたらかゆみが出ます。

毎日シャンプーしていても寄生することがあり、衛生状態とは関係がありません。

清潔にしているでも感染するので、時々チェックしてあげてください。

●アタマジラミの見つけ方

髪の毛に産みつけられたたまごを探す

→卵は、0.5～0.7mmのだ円形

毛にしっかりとくっついている

☆感染経路

髪と髪との接触

くし・ブラシ・タオル・帽子の共用

●もしも見つかったら

専用のシャンプーやパウダーを使うかすきぐしで丁寧にすいて駆除します。

(薬局で相談してください)

くし・ブラシ・タオル・帽子の共用はしないようにしましょう

★子どもが自分で洗髪する場合は、後頭部や耳の後ろが洗えていないことが多いので、洗髪方法も見てあげてください。

